

第33回公共施設等総合管理計画 策定推進本部	日時	令和3年3月30日(火) 9:20~9:30	場所	議場
出席者 (13人)	本部長：西岡市長 副本部長：住野副市長、大熊教育長 天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、加藤市民課長（西田市民部長代理）、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長			
欠席者 (1人)	大津学校教育部長			
事務局	企画政策課 後藤公共施設マネジメント推進担当課長 庶務課 鈴木庶務課長 生涯学習課 関生涯学習課長			
議題	1 小金井市公共施設個別施設計画の策定について 2 小金井市社会教育関係施設個別施設計画の策定について 3 小金井市学校施設長寿命化計画の策定について			
資料	1 小金井市公共施設個別施設計画及び概要版 2 小金井市社会教育関係施設個別施設計画及び概要版 3 小金井市学校施設長寿命化計画及び概要版			
<p>(進行：西岡市長)</p> <p>【議題1】 小金井市公共施設個別施設計画の策定について</p> <p>【議題2】 小金井市社会教育関係施設個別施設計画の策定について</p> <p>【議題3】 小金井市学校施設長寿命化計画の策定について</p> <p>(本件については、事務局が説明を行った。)</p> <p>○ 議題1、2、3については一括議題とし、説明させていただく。 以上3件の計画については、令和3年2月4日から3月3日までの1か月間パブリックコメントを実施し、各作業部会にて計画案の最終確認を行い、所要の修正を行ったものである。 計画策定に向けて、お示しした内容にて承認頂きたい。 なお、今後、突発的な修正等が生じた場合は、事務局にて対応することといたしたい。</p> <p>【関連質疑】</p> <p>○ 各計画における今後の推進体制はどの様に考えているか。 → 各施設の建替えや長寿命化改修を検討する場合には、最初に、公共施設等総合管理計画で示した施設類型毎の基本的な方針に基づき当該施設のあり方を検討し、施設の継続が必要とされたものについて建替えや長寿命化改修を実施することとしている。来年度の公共施設等総合管理計画の改訂に当たり、施設所管課においてあり方を検討しやすいよう、「統合や廃止に係る手法の採用を検討する際のフローモデル」の改訂を行う等の工夫をしてまいりたい。</p> <p>○ 学校施設について、建替えや長寿命化改修を検討する際には、複合化・多機能化等も視野に入れた検討が必要と考える。計画では庶務課が中心となって検討を行うこととしているが、複合化や多機能化は全庁的な調整が必要であり、検討体制の構築が必要ではないか。 → 学校施設は地域コミュニティの中核施設として、関係各課と連携を図りながら老朽化対策を施す必要があることから、関係各課の課長職で構成する学校施設部会を活用し検討することを考えている。推進体制の構築は課題として捉えている。</p> <p style="text-align: center;">— 以上で、会議終了 —</p>				